

(一般質問)

質問日	令和 6 年 9 月 26 日 (木)		質問方式	分割方式			
質問順位	3	会派名	市民クラブ	議席番号	39	氏名	斉藤 晴明
表 題	質 問 内 容						答弁者の職名
1 総合計画基本計画について	<テーマ>浜松市とブランド (1) 今年度、浜松市総合計画基本計画（2015年度～2024年度）が最終年となる。次期基本計画について、重点施策も含め市長の考えを伺う。 (2) 総合計画にウェルビーイングの視点を取入れ、客観指標に加えて主観指標を活用して、毎年、政策を更新していくべきと考えるが伺う。 (3) 全計画の内容・関連性について、総合計画を最上位とする計画体系を市民に分かりやすく市ホームページ等に掲載すべきと考えるが伺う。 (4) 計画を推進するために、職員の新たな発想やアイデアが欠かせない。 そこで、現在、政策トライアル推進事業など進めているが、成果と今後の更なる取組について伺う。						中野市長 工藤企画調整部長 〃 〃
2 財政と資産管理について	(1) 市長は、近年のコロナ禍や物価高騰などの社会情勢の変化にも迅速かつ機動的に対応できたこと、また実質公債費比率や将来負担比率が政令市平均を下回る健全な財政状況であることは、規律ある財政運営の成果であると評価している。 そこで、来年度からの次期中期財政計画について、人口減少社会を見据え、一人当たりの市債残高を引き続き目標設定すべきと考えるが伺う。 併せて、一般会計、特別会計、企業会計別に目標設定すべきと考えるが伺う。 (2) 浜松市公共施設等総合管理計画について、令和 5 年度決算ベースで、タテモノ資産の充足率84.0%、インフラ資産の充足率107.4%となっているが、算定方法を人件費・物価変動など実態に合った算定とし、RBM（リスクベースメンテナンス）の精査も含め、毎年度見直すべきと考えるが伺う。 (3) 本市における普通財産のうちの遊休財産は、令和 5 年度末現在、843 件、約 159 万平方メートルあるが、資産の額を明確にして資産価値の高い市内中心部など優先的に処分する計画を策定すべきと考えるが伺う。						中野市長 鈴木財務部長 〃

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
3 ウェルビーイングなまちづくりについて	企業や団体との官民連携によるウェルビーイングなまちづくり促進事業「はままつWell-Beingアワード」を創設したが、成果と今後さらに様々なウェルビーイングの手法を活用して展開すべきと考えるが伺う。	水谷デジタル・スマートシティ推進部長
4 教職員の働き方改革について	本年6月に、政府は、経済財政運営と改革の基本方針2024（骨太方針）で、質の高い教師の確保・育成に向け、働き方改革のさらなる加速化、処遇改善、指導・運営体制の充実、育成支援を一体的に進め、学校・教師が担う業務の適正化やDXによる業務効率化を進めるとともに、学校における働き方改革の取組状況の見える化等、教師の時間外在校等時間の削減を徹底して進めるとの方針を示した。 そこで、以下伺う。 (1) 令和元年度から授業準備やテスト採点の補助、職員会議や職員研修の準備など教員業務の補助をするため校務アシスタントを全校に配置した。 教員からは歓迎されている一方で、週に2、3日の勤務では頼めないことが多く、勤務時間が足りている学校と足りていない学校の格差があるとの声がある。 そこで、学校ごとの実態に合った運用をしていくためにも、現行の学級数をもとにした配置基準を見直すことや、複数配置のさらなる拡充をすべきと考えるが伺う。 (2) 本市における教員の精神疾患による病気休職者が毎年増加している。 その要因の一つに、学校への過度な要望や苦情が挙げられ、学校だけでは対応しきれていない状況にある。 スクールロイヤーにより学校が抱える問題やトラブルの初期対応段階において、学校がとるべき法律上適切な対応について助言等実施しているが、十分とは言えない。 そこで、学校内での対応・体制の徹底、教員退職者等の活用、全校へ電話録音機能を設置すべきと考えるが伺う。	宮崎教育長
5 今切口東側地区の有効活用について	浜名湖はもともと淡水湖で太平洋とは隔てられた湖であったが、1498年の明応地震の津波により陸地が決壊し、現在は幅200メートルの今切口となっている。 今切口東側は県所有で本市が管理する駐車場と、本市及び国の土地がある。 駐車場はほぼ利用が無く、本市及び国の土地も有効活用されていない状況で、さらに東側は松枯れ状態の松林がある。	齊田観光・ブランド振興担当部長

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	この地区は、南側の遠州灘は冬の水平線に沈む夕日の素晴らしさ、北側は浜名湖と景観は絶景そのものである。 そこで、この地区に5つ星ホテルなどを誘致して有効活用してはと考えるが伺う。	
6 大学生の交流拠点等について	本年度、新規に中心市街地活性化事業として、まちなかの関係者と連携して学生や若者が参加しやすいイベント等を実施し、新たな主体がまちなかに関わるきっかけをつくるとしている。 また来年度、中心市街地活性化基本計画を策定することとなっている。 これからのまちづくりにおいて、次代を担う学生の発想やアイデアを活かしていくことが重要と考える。 そこで、市が学生と接点を持ち、さらに、駅南地区への常葉大学と浜松調理菓子専門学校の移転を機に、学生の交流拠点として、例えば浜松市地域情報センターの活用と、担当部署の明確化について伺う。	山名副市長
7 「音楽の都」への取組について	(1) 若い世代の音楽文化を育成する観点から、中ホール・大ホールを含めたアクトシティ施設のうち、使用していない時間を小・中・高校生等へ安価で貸出し、音楽活動を支援してはと考えるが伺う。 (2) 本年度、音楽のあふれるまちづくり発信事業として、浜松城公園芝生広場で中高生を対象とした軽音楽祭開催事業の展開を予定しているが、今後さらに、楽器の世界的メーカーの企業を取り込むとともに、映像を活用し、浜松市における大学生も含めた一大イベント(仮称 LIGHT MUSIC IN HAMAMATSU 2025)に成長させるために、アクトシティの展示イベントホールなど市中心部での開催が出来るようにしてはと考えるが伺う。	嶋野文化振興 担当部長
8 史跡蜷塚遺跡再整備事業について	博物館は、開館から40年以上が経過し、施設・設備の老朽化、求められる役割や機能の充実、デジタル技術へ対応するために、本年5月に浜松市博物館リニューアル基本構想が示された。 そのなかで、隣接する史跡蜷塚遺跡で進められている再整備計画との連携・整合を図ることとしている。 そこで、令和9年度に完成予定の史跡蜷塚遺跡再整備事業について、約4000年前の史跡の宿泊体験やカフェなど、縄文時代での体験や多くの市民が気軽に集えるよう整備をしてはと考えるが伺う。	嶋野文化振興 担当部長

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
9 本庁舎駐車場について	近年、本庁舎駐車場が満車で国道152号（飛龍街道）に頻繁に車が滞留し、バス停留所においてバスの運行に支障がでて乗降者が危険にさらされているケースがある。 また、北方面から市役所本庁舎に来訪する方は市役所前交差点をUターンしたり、市役所本庁舎前が渋滞したりすることは本来の姿ではない。 そこで、抜本的な対策を講ずべきと考えるが伺う。	鈴木財務部長